

どうもね！が響き合うまち 石巻

こねっと

Vol.5



地域サロン・小崎ゆいの会（河南地区）

生活支援コーディネーターの1日をのぞき見。

進め！コーディネーター！

- 支え合う地域づくりの現場から
- 地域の魅力！じいばあーっす！
- 生活支援体制整備事業 Q&A

こねっと、とは…「こねる」と「ネットワーク」（つながり）を組み合わせた造語で、地域が混ざり合うことでたくさんのつながりが生まれるようにとの思いが込められています。こねっとでは、市内の「支え合い情報」や「生活支援情報」のほか、地域のみなさんの頑張りを発信していきます♪

石巻市生活支援体制整備事業

支え合う地域づくりの現場から

地域での困りごとや地域課題を共有し、助け合いの仕組み作りに奮闘する“協議体の今”をお届けします。

北上地区 第2層協議体 北上支え合い協議会



「以前のような学校・地域・高齢者施設の交流が盛んでしたが、今はコロナの影響や人口減少による学校の統合など地域の中で交流する機会が減り、人のつながりが希薄になっています。これからの北上を考えた時に「どうしたら自分達で地域を盛り上げていけるのか」「近隣地区の活動はどうなっているのか」「以前のような学校・地域・高齢者施設の交流を再開させたい」というような声に、「近隣地区との情報交換ができれば、活動の幅も広がられるのでは。互いにつながる取り組みや活動を発信しよう」といった方針が決められ、広報紙を作ることになりました。様々な活動の発信による新たな発見や気づきに期待しています。



担当
コーディネーター
佐藤 文博

渡波地区 第2層協議体 渡波かたろう会



「子どもたちとふれあうことで、楽しさや喜びにつながったりする」、「子どもは地域の大人と関わることで親以外にも信頼できる、味方になってくれる存在を見つけれられる」と、今回のような活動が、互いに良い影響をもたらすということを協議体メンバーと改めて確認する機会となりました。



担当
コーディネーター
青山 朝未

自分たちでつくっていく、新しいつながり。

交流・見守り・支え合いの観点から「地区と世代を超えてつながっていく」をテーマに活動してきました。

昨年企画した秋祭りでは「お宝発見コーナー」として、自分で作った作品販売コーナーを設けました。その中で、80代の女性が作った貝殻のアクセサリーを買った小学生がとても気に入ったことを伝えると、女性は「買ってくれて、こちらこそありがとう」と嬉しそうに返し、世代を超えたつながりが生まれていました。

地域の「想い」を伝えるカタチ。

以前は学校・地域・高齢者施設の交流が盛んでしたが、今はコロナの影響や人口減少による学校の統合など地域の中で交流する機会が減り、人のつながりが希薄になっています。これからの北上を考えた時に「どうしたら自分達で地域を盛り上げていけるのか」「近隣地区の活動はどうなっているのか」「以前のような学校・地域・高齢者施設の交流を再開させたい」というような声に、「近隣地区との情報交換ができれば、活動の幅も広がられるのでは。互いにつながる取り組みや活動を発信しよう」といった方針が決められ、広報紙を作ることになりました。様々な活動の発信による新たな発見や気づきに期待しています。

生活支援コーディネーターの1日をのぞき見。 進め！コーディネーター！

コーディネーターは、高齢者が安心して住みやすいまちづくりを目指し、
①地域資源・生活ニーズの把握 ②話し合いの場づくり ③支え合い活動の推進
に地域の住民組織や関係団体と連携して取り組んでいます。
今年度からコーディネーターになった2人の活動を紹介します。



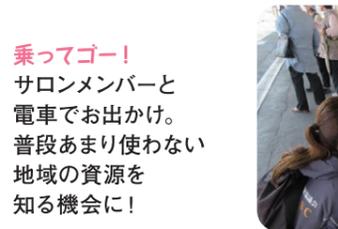
朝礼
毎朝お互いの
スケジュールを共有！



サロン訪問
体操終了後に
ガールズトーク！
地域のことは
地域の人がたくさん
知ってる！



サロン訪問
コーヒー屋さんの
淹れ方講座。
お店とサロンを
つなぎ、相互の
ニーズをマッチング！



乗ってゴー！
サロンメンバーと
電車でお出かけ。
普段あまり使わない
地域の資源を
知る機会に！



子ども食堂へ
地域活動へ参加。
一緒に経験していく
ことが大切。



活動相談の対応
民生委員さんから
サロンのことで
問い合わせ。
何気ない会話が
地域のことを知る
機会になっています。



ミーティングに参加
専門職と地域の人たちが
集まって地域の相談。
ちょっと気になっていること、
心配事を一緒に
考えています。



記録
1日をふりかえる時間です。

石巻、山の手地区 山口 楓花

今年度より石巻、山の手地区の担当になりました。コーディネーター1年目の私を地域のみなさんが温かく迎え入れ、優しく接していただき、とても感謝しています。支え合いで溢れた温かい街を地域住民のみなさんと一緒につくっていけたらと思います。どんなことでも気軽に声をかけてくれたら嬉しいです！よろしくお願いします！



山下地区 須田 彩乃

山下地区の担当になって4ヶ月が経ちました。地域を知り、自分を知ってもらうために地域に足を運んでいます。まだまだ分からないことばかりで、地域のみなさんから教わるのがたくさんあり、毎日助けられています。今後も精一杯頑張りますので、みなさんよろしくお願いします！



じいばあーっす！

高齢になってもみんなが助け合い一緒に暮らせる社会！
地域の魅力は、そこに住む人々の魅力でもあります。



「地域で長く暮らしていくためには『話す、人と会う、笑顔でいる』が大事」
「飯野川が大好き。ここまで生きてこれて大変幸せ」と話す美喜子さんの姿からは、老舗の接客心得と、地元への愛が積み重なっていると感じました。

(担当コーディネーター 伊藤善和)



「利用者さんからは、『顔見知りだから安心してお願いできるの』との声も。車内で交わされるたわいもない会話も楽しみの一つになっていて、互いに気にかけて合うような関係が自然とできているようです。『自分の生きがいなんです！まだまだ、元気なうちは続けますよ！』と意気込みを語ってくれ、『好きなことで役に立てる、長く続けられる』、そんな想いに触れました。

(担当コーディネーター 山口楓花)

好きなことを通じて誰かの役に立ちたい。

石巻地区 佐瀬 清貴さん(70代)

中央カーシェア会でボランティアとして活躍中の佐瀬さん。若い頃から運転が好きで、10年以上も自分の強みを活かして地域のために活動しています。長年続けられている秘訣は「運転が好きだから」。利用者さんからは、「顔見知りだから安心してお願いできるの」との声も。車内で交わされるたわいもない会話も楽しみの一つになっていて、互いに気にかけて合うような関係が自然とできているようです。『自分の生きがいなんです！まだまだ、元気なうちは続けますよ！』と意気込みを語ってくれ、『好きなことで役に立てる、長く続けられる』、そんな想いに触れました。

代々受け継がれる接客魂。

●河北地区 今野 美喜子さん(80代)

飯野川で江戸時代から続く今弥商店の9代目店主。5才の頃から店に立ち始め、この道約80年。「客商売だから店に立つときはいつも笑顔で」は先代からの教えと話す美喜子さん。お店には代わる代わる馴染みのお客さんが訪れ、昔話に花を咲かせます。

趣味は習字とコース。子どもが中学生の頃に保護者のみならず始めたママさんコースのつながりは35年も続いています。週1回の練習会でみんなとワイワイ騒ぐのが楽しみとほほえんでいました。

教えて！
コーディネーター

生活支援体制整備事業では、“高齢者の生活を支える体制づくり”を進めています。地域の支え合いを話し合う場を、市全域(第1層)市内16地区(第2層)で行っています。



第1層生活支援
コーディネーター
鈴木 麻千子

**Q 第1層協議体
「石巻市生活支援・介護予防体制整備推進協議体」
の様子を知りたい。**

**A 令和5年度、第1層協議体と第2層協議体の連携を
進めるために2つのことを行いました。**

1つめ：学びの場の創出

16地区の第2層協議体メンバー、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター職員を対象とした研修会の開催。

内容：①講演 「わたしたちの第2層協議体～みつける・つなげる・うごかす～」

講師 仙台白百合女子大学 志水 田鶴子 先生

②各地区の第2層協議体の様子を情報交換



様々な活動の様子が参考になりました。難しく感じていたけど、同じような仲間がいることが分かり、安心しました。

2つめ：生活支援・社会参加について実態把握

「生活支援」と「社会参加」というテーマを設定し、地域の現状や今後に向けた提案等、実態把握を実施。生活支援コーディネーターが中心となり16地区で話し合われました。

もっとこの事業を知ってもらうために。

令和5年11月に石巻地区介護福祉フェスティバルに参加。東松島市、女川町で同じ取り組みをしている仲間たちとブースをつくり、事業の啓発を行いました。



地域活動や暮らしに関する悩みごとなど、気軽に各地区担当のコーディネーターにご相談ください。

お問い合わせ

社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会

TEL 0225-24-8509

FAX 0225-96-5223

E-mail: csc@ishinomaki-shakyo.or.jp

地域福祉課

〒986-0825 石巻市穀町15番2号
石巻市ささえあいセンター 3階